

(様式3)

事業所名 麦の家・ぶどうの木(Ⅰ)(Ⅱ)

## 目標達成計画

作成日: 令和 8 年 1 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	創設時より30年が経過した中で、改めて理念を職員全員で理解して共有する中で、グループホーム実践をより深めて行くことが課題。	全職員が理念を理解し、実践に結び付けていくことを目標とする。	・理念の共有としてミーティングにて理念について学びを深め、具体的な話し合いの場を持つ。 ・クライアントの傾聴を通じて、実践から理念を考える機会を、職員一人ひとりが持てるようにする。	24ヶ月
2	35	災害時における実践に沿ったシミュレーション(日中・夜間)が不足していることが課題。	入居者の避難を優先することに加え、持ち出し資料・具体的な役割分担など職員間で明確にしていくことを目標とする。	・避難訓練をより具体的に実施する計画を立てる。 ・災害対策として運営推進会議にて地域との相談を深める。 ・非常用装置の検討。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。